山梨県立わかば支援学校　インクル推進だより　No. 2

WAKABA

令和8年　11月　4日発行　文責:吉澤・近藤

授業体験会



７月３０日（木）に小学部の授業体験会を行いました。年長幼児２４名の参加がありました。自由遊びの後、朝の会や音楽を体験しました。参加された保護者の方からは、「就学を検討するのに役立った。」「写真や動画を用いて説明があったので、イメージがしやすかった。」「初めての場で落ち着かない部分があったが、先生方の対応に安心感があった。」などの感想をいただきました。本校への就学を検討している皆様に、小学部の生活を体験していただく機会になりました。

研修支援を行いました



９月末に、中巨摩郡の特別支援学級の先生方を対象に**『体の使い方・手指の動きについて』**の研修を行いました。実際の教材を手に取り、使い方や作り方などを知っていただく機会になりました。

研修会でお伝えした、体の使い方や手指の動きの支援や指導に使える教材やポイントなどについてご紹介します。



子ども達は、子ども同士や大人とのかかわりの中で生活スキルを獲得していきいます。概ね３、４、５歳で日常生活に必要な動作が一人でできるようになっていきます。また、運動遊びや手遊びなどを体験しながら、バランスのとり方や指先の使い方などを獲得していきます。

近年では、椅子に座り続けられない、姿勢保持が難しい、手先が不器用など、気になる動きをする子ども達が増えてきています。子どもができない時にはできるまで繰り返すのではなく、子どもの動きをよく観察し、できない原因を探ること、そしてそのレベルに合わせてかかわることが必要となります。

指先の動きについて

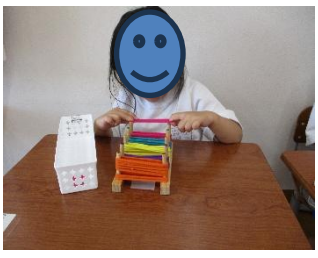
指先の動きには**「握る」「つまむ」**があります。指先の筋肉や力だけに注目するだけでなく、まずは**しっかりと座れるようにすること**も大切です。見る、ものに触る、力を入れるなど、**感覚機能**を働かせることも大切になります。



箸・トング



洗濯ばさみつまみ



ゴムかけ



ブロック積み

日常生活で できることもあるよ！



ファイル綴じ



セロテープ



紙をちぎる、丸める



シール



雑巾絞り

ゲーム感覚で できるよ！





輪投げ、的当て

見て操作する力を高める



もぐらたたき



爆弾ゲーム



風船バレー、風船遊び

空間認知を高める



魚釣りゲーム

他にもこんな学習支援グッズがあるよ



滑り止めシート

紙を抑えずに字を書いたり消しゴムで消したり、定規が使えたりする。



サンドペーパー

書くことへの応答性を上げる。



6Bや10B鉛筆

濃い鉛筆を使うことで、書いた字に意識が向く。



輪ゴムストッパー

鉛筆に輪ゴムを巻くことで、正しい（書きやすい）位置で鉛筆を握れる。

こんな自作教材もあります



プリントがずれないように滑り止めや枠を付けた自作教材。

教材選びや教材作りのポイント

〇子どもの興味を引くものを取り入れよう！

⇒子どもの好きなものを取り入れたり、色合いやデザインを工夫したりする。

〇動き（目的）が分かりやすい設定にしよう！

⇒教材を見て、やるべきことが分かりやすいように設定する。

〇子どもの成長段階に合った教材の選定をしよう！

⇒できていることや課題を見極めながら、子どもに合わせた教材の選定をする。

〇身近な材料・道具の活用をしよう！

⇒家庭で出る廃材や１００円ショップで購入できる材料や道具を活用する。

山梨県立わかば支援学校

〒400−0226 南アルプス市有野3346−3

TEL:055−285−1750

FAX:055−285−5827

担 当:インクル推進部 (五味 優紀　鮫田 直子　田中めぐみ　近藤 瞳)

【ＵＲＬ】 http://www.wakabay.kai.ed.jp/

【Ｅ−Ｍａｉｌ】 wakaba-yg@kai.ed.jp

受付時間

月･火･木･金 9:30~16:30